

Yamaha MOTIF ES6/7/8 Multi Part Editor V2.2.2

リリースノート

ヤマハ製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。

MOTIF ES6/7/8 Multi Part Editor for Mac(以降、Editor)は、MOTIF ES6/7/8 をマルチ音源(マルチモード)として使用する場合に、パートパラメーター (Volume、Pan、EG、Cutoff など)やエフェクトなどさまざまなパラメーターを、コンピューター画面を使って視覚的に確認しながらエディット(編集)できるユーティリティソフトウェアです。

エディットしたデータを MOTIF ES6/7/8 へ送信したり、MOTIF ES6/7/8 内のデータを読み込んでエディットしたりすることができます。

また、このソフトウェアは Studio Connections の Recall に対応した DAW ソフトウェア上でお使いいただけるほか、単体の Editor としてもお使いいただくことができます。

■ インストール時の注意

あらかじめ最新版の Studio Manager をコンピューターにインストールしてください。

■ バージョンの確認方法

現在ご使用の Editor のバージョンは、Editor を起動して、[ヘルプ]メニュー→[バージョン情報]でご確認ください。

■ 主なアップデートポイント

【V2.2.0→V2.2.2】

- ・ Mac OS X 10.6 に対応しました。
- ・ Cubase のバーチャルキーボードを使用すると音が鳴り続けることがある問題を修正しました。
- ・ 「EASTWEST/QUANTUM LEAP ソフト音源 PLAY Edition シリーズ」の VST プラグインを起動しようとする Cubase が強制終了してしまう不具合を修正しました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

【V2.1.6→V2.2.0】

- ・ Intel プロセッサ搭載の Macintosh コンピューターに対応しました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

【V2.1.4→V2.1.6】

- ・ Recall にかかる時間を改善しました。
- ・ Part Mixer 画面において、Voice Bank 表示を Voice Category 表示に変更しました。
- ・ パート毎の Voice 選択において、Category ごとの選択が可能になりました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

【V2.1.3→V2.1.4】

- ・ Editor から MIDI の送受信ができない場合がある問題を修正しました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

【V2.1.2→V2.1.3】

- ・ Stand Alone の状態で保存した YSM ファイルを、DAW ソフトウェアのプラグインとして開いた **Editor** で **Import** した場合、**Remap** を行うとポート設定が正しく行えない不具合を修正しました。
- ・ **Recall** を行った後に **Editor** を終了すると、強制終了のダイアログが表示される不具合を修正しました。
- ・ その他軽微な不具合を修正しました。

* このリリースノートに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
Copyright (C) 2005-2010 Yamaha Corporation. All rights reserved.